

単元名 人物紹介パンフレットを作ろう～情報を編集する～  
「地域食材紹介カードを作ろう」

そば ー長野県ー



地場産物の説明

そばは長野県の特産品である。信州そばは江戸時代から有名であった。信州の気候はそばの栽培に適しており、良質のそばが穫れ、「信州そば」の名が広く知られるようになったのである。

「信州そば」と一口にいても、その産地は北から南まで県内に限なく分布していて、同じ信州でも産地によって栽培時期が異なる。農作物の栽培に不向きな自然条件がむしろそばには適しているのである。そばは野菜に適するような肥えた土地よりも、やせた土地でも水はけがよければ良く、さらに昼夜の気温差が大きいほど実のしまったおいしいそばが採れるのである。

献立例

ごはん、牛乳、鱈のムニエルにんじんソース、かぼちゃのサラダ、きのこの沢煮椀、そばようかん、小魚

1人当たりの栄養量 (中学校)

エネルギー	856kcal
たんぱく質	33.0g
脂質	24.5g
カルシウム	406mg
鉄	3.8mg
ビタミンA	620μgRE
ビタミンB <sub>1</sub>	0.89mg
ビタミンB <sub>2</sub>	0.79mg
ビタミンC	48mg
食物繊維	6.8g
食塩	2.9g
マグネシウム	148mg
亜鉛	4.6mg



給食の時間の指導 (感謝の心・食文化)

そばは、長野県の特産品で、江戸時代から信州そばは有名でした。

今日の地域食材おすすめメニューは「そばようかん」です。真田産の今年とれた新そばと寒天を使って作りました。そばの実は三角すいの形で黒い皮に包まれていますね。そば粉は、殻をとった実を粉にして作ります。そば粉100%で打ったそばを、「10割そば」といいますが、普通は小麦粉や山芋をつなぎに入れて切れないようにそばを打ちます。そばようかんは、そば打ちの副産物ともいえる、しゃれた和風のデザートです。真田のそばの味を味わいましょう。

健康フォーラムでは、地元でとれた物を地元で消費する「地産地消」について学び、真田の農産物と生産者の方々の気持ちを知って、真田の良さを再発見しましょう。

## 中学校 第2学年 国語科学習指導（略）案

日 時 平成21年 月 日 第 校時

対 象 2年 組 名

指導者 教科担任（T1）栄養教諭等（T2）

1 単元名 人物紹介パンフレットを作ろう～情報を編集する～  
「地域食材紹介カードを作ろう」

## 2 単元の目標

地域食材をPRをするキャッチコピーを考えて発表する活動を通して、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付ける。

## 3 本時（1/1時）

## (1) 本時の目標

地域食材の特徴や生産者の願いや思いを聞き、それらをもとに地域に向け発信するPRポスターのキャッチコピーをわかりやすく、より印象に残る言葉になるように考え、工夫して表すことができる。

## 〈食育の視点〉

地域の農産物について学び、食べ物の生産等にかかわる人々への感謝の心をもつ。（感謝の心）（食品の選択）

## (2) 学習過程

	主な学習活動と生徒の反応	教師の指導・援助（T1）	教師の指導・援助（T2）	備考
導入 15分	1 本時の学習の内容を確認する。 ・ 今日生産者の方のお話を聞いて、PRカードを作るんだ。 ・ そばについて聞くんだな。	・ 生産者の方の紹介をし、地域の直売所におくPRカードの作成を確認し、例を参考にし見通しを付けさせる。	・ あらかじめ作ったPRカードの見本を提示する。	PRカードの見本
展開 25分	2 生産者の方の話を聞いて、それぞれの食材についての特徴や生産者の方の思いや願いを知る。  3 班毎にキャッチコピーを考え、班毎に意見を出し合いながらPRカードを作る。	・ 聞き取った内容を学習カードに記入させ、その中からキャッチコピーやPR分を考えるヒントにする言葉を探すよう確認する。 ・ 生産者や消費者の立場を考え、どのような内容がいいか相手意識をもたせるようする。 ・ キャッチコピーの特性（よびかけ、比喩表現、リズム・語呂合わせなど）の工夫の仕方を確認し、印象的で心をひきつける工夫がされているかどうかの観点にそって助言指導する。	・ 食材の特徴や地域生産者の方の内容と合わせて、毎日の給食の食材につかわれていることやよさを伝え、意識を高める。  ・ 机間指導しながら、どのような調理例があるか、またこれまでの給食で出たことを想起させてアドバイス助言する。	学習カード
終末 10分	4 作成したPRカードを見合いながら相互評価をし、学習のまとめをする。	・ いくつかの作品を取り上げ、工夫した点や感想などを出させて、評価する。	・ これからの給食に出される食材の一つ一つに関心をもってもらおうよう添える。	

## (3) 評価

- 地域食材のPRをするキャッチコピーを考え発表したことは、構成を工夫して分かりやすく書く力を高めることにつながったか。
- 農業生産者の苦勞や作物に対する思いを知り、さまざまな地域食材について知ったことを伝えようとする意欲が高まったか。